

2026年(令和8年)5月1日



さがみはら市議会だより

No.233

編集・発行：相模原市議会 電話 042 (769) 9803
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/>

※無断転載・転用は
お断りします。

令和8年度 当初予算をチェック!

予算で知る わたしたちの まちのこと



市長から提出された
令和8年度当初予算案について
活発に議論したよ。
詳しい内容は
3面と7面を見てね!



TOPICS

**主な議案の概要
委員会の審査
主な議案の審議結果** 2

代表質問 代表質問
代表質問・個人質疑と市の答弁を
分かりやすく紹介 3

一般質問 一般質問
市政全般に対して行われた質問と
市の答弁を分かりやすく紹介 4
5
6

**予算特別委員会分科会の
審査** 7
予算に対する討論要旨

**常任委員会活動レポート
議会運営委員会活動レポート** 8
小・中学生対象
あなたの描いた絵が
市議会だよりの表紙になるかも!?
作品大募集!

3月定例会議

令和8年度予算や 学校給食費の管理に関する条例の一部改正など 63件の議案を可決・同意

3月定例会議では、令和8年度予算の議案が提出され、過去最大規模となった一般会計予算の編成における考え方や特徴などについて質疑等が行われました。

また、令和8年度の市立小学校等の給食費について保護者に負担を求めることなく給食を提供する議案などが提出され、本会議や各常任委員会で質疑等が行われました。

更に、議員提出議案として「映像の力でさがみはらを元気にする条例」や「ケアラー支援条例」のほか、議会基本条例などの一部改正案2件が提出されました。

議員提案により 新たな条例を制定しました。

条例全文は、
市議会ホームページ
をご覧ください。



その他詳細は、
市議会ホームページを
ご覧ください。



映像の力でさがみはらを 元気にする条例

制定の背景
本市はロケーションに適した多
様で魅力ある場所を有し、都心か
らのアクセスにも恵まれ、映像業
界からも高い注目を集めているこ
とから、全市を挙げて映像を活用
したまちづくりに積極的に取り組
む姿勢を明確に示すことで、映像
作品の撮影地としてより一層選ば
れると考えました。

条例の目的
本市の撮影地としての需要の拡
大を図る様々な取組を推進し、地
域経済の活性化、シビックプライド
の醸成を図り、もって「映像の力
でさがみはらを元気にする」こと。

ケアラー支援条例

制定の背景
家族や身近な人の介護・看護等を
担うケアラーの心身の負担は大き
く、孤立や就労・学業との両立困難
など、状況は深刻さを増しているこ
とから、問題を本市全体で共有し、
ともに支え合い、誰もが安心して暮
らせる社会を実現する必要があると
考えました。

条例の目的
ケアラー支援に関して基本となる
施策を総合的かつ計画的に実施し、
ケアラーの負担の軽減又は解消を図
り、もって全てのケアラーが健康で
文化的な生活を営むことができる社
会の実現に寄与すること。

6月定例会議のお知らせ

6月定例会議の予定は、次の
とおりです。

本会議・委員会は、午前9時
30分から開会する予定です。

5月 25日(月) 議会運営委員会
29日(金) 本会議(提案説明)
6月 8日(月) 本会議(代表質問・個人質疑)
9日(火) 本会議予備日(代表質問・個人質疑)
11日(木) 総務委員会
12日(金) 民生委員会
15日(月) 市民環境経済委員会
16日(火) こども文教委員会

6月 17日(水) 建設委員会
26日(金) 本会議(一般質問)
29日(月) 本会議(一般質問)
30日(火) 本会議(一般質問)
7月 1日(水) 本会議(委員長報告、採決)
<本会議終了後>
議会運営委員会
※会議の日程等は変更になる場合があります。

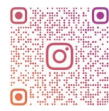
6月定例会議
紹介ポスターデザイン

令和8年6月定例会議
相模原市議会
5月29日(金)～7月1日(水)
<https://www.sagamihara-shigikai.jp/>

制作協力
女子美術大学 デザインルーム

相模原市議会の詳しい情報は

市議会ホームページ・Instagram・フェイスブックでもご覧になれます。
本会議・委員会のインターネット放映をご覧になったり、会議録が検索できます。
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/> 相模原市議会



「フォロー」してね!!

「いいね!」してね!!

3月定例会議

主な議案の概要

職員定数条例の一部改正

職員採用試験の拡充のために人事委員会の事務局職員、中学校の学級編制の見直し等に伴う対応として教職員の定数を増員する改正を行う。

一般職の給与に関する条例の一部改正

人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告並びに国及び他の地方公共団体の給与等を勘案し、一般職の職員の扶養手当、地域手当及び給料に係る規定の改正を行う。

市営斎場条例の一部改正

市営斎場長寿命化改修・運営事業の実施に伴い、令和10年度から27年度までの間における指定管理者の指定の特例に係る規定の追加を行う。

国民健康保険条例の一部改正

子ども・子育て支援金(※1)制度の創設に伴う子ども・子育て支援納付金課税額に係る規定の追加、国民健康保険税の税額等の改定等を行う。

学校給食費の管理に関する条例の一部改正

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、市立小学校及び義務教育学校における令和8年度の学校給食費を徴収しないこととする改正を行う。

火災予防条例の一部改正

省令の改正を踏まえた、簡易サウナ設備の基準等に係る規定の追加、感震ブレーカーの普及を促進するための住宅における火災の予防の推進に係る規定の改正、林野火災を予防するための規定の追加等を行う。

用語解説

※1 子ども・子育て支援金
国が策定した子ども未来戦略「加速化プラン」により新設・拡充する子育て施策に充てるため、令和8年4月から医療保険制度を通じて徴収する支援金のこと。



その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

委員会の審査

上程された議案及び陳情は、所管の委員会に付託され、様々な視点から審査されました。主な議案等に関する質疑事項は、次のとおりです。

総務委員会

一般職の給与に関する条例の一部改正

- 配偶者に係る扶養手当の月額6,500円を廃止し、子に係る扶養手当を3,000円増額する理由
○改正による少子化対策への効果
○行政職給料表2の改正が他の給料表の改正より1年遅れた理由

【賛成総員により可決】

民生委員会

国民健康保険条例の一部改正

- 国民健康保険税の税率を平均7.4%増とした理由
○税負担の増加が家計に与える影響の評価
○子ども・子育て支援金の一人当たりの金額がこども家庭庁の試算額より高い理由

【賛成多数により可決】

市民環境経済委員会

市営斎場条例の一部改正

- 特別目的会社を指定管理者とすることによる入札の参加見込み
○18年にわたる指定管理期間中における協定内容の見直しの可否
○改修工事に伴う市営斎場の仮設式場の設置や代替施設確保の考え

【賛成総員により可決】

建設委員会

火災予防条例の一部改正

- 感震ブレーカーの普及促進と補助制度実施に対する考え
○火の使用制限の対象区域を旧4町とした理由
○林野火災に関する注意報等発令時の周知方法

【賛成総員により可決】

こども文教委員会

学校給食費の管理に関する条例の一部改正

- 給食無償化における国の基準を超える額を物価高騰対策に係る交付金で対応する理由
○令和8年度に限った時限的措置であることを周知する必要性
○他の指定都市や県内自治体の対応状況

【賛成総員により可決】

詳しい内容については、議会議中継(録画)をご覧ください。



第2回臨時会議・3月定例会議(主な議案)の審議結果

凡例:○…賛成、×…反対、議案に対する討論が行われた場合、賛成討論は[賛]、反対討論は[反]を付記しています。

Table with columns for Case No., Case Name, and Voting Results for various committees (Self, Sagami Mirai, Public, etc.).

※3月定例会議の上記以外の議案43件は、全会一致で可決・同意されました。全議案の審議結果は市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

令和7年定例会 第2回臨時会議を開催(令和8年1月26日)

令和7年度一般会計補正予算(第8号) 補正額:3億2,400万円

1月26日に、第2回臨時会議が開催され、第51回衆議院議員総選挙及び第27回最高裁判所裁判官国民審査に係る経費を計上した補正予算が提出され、賛成総員により可決されました。

議会内会派の構成

(議員の氏名は50音順、()内は略称)

Table listing political parties and their members: 自由民主党相模原市議団(自民党) 14人, 民主みらい・無所属・地域政党さがみはら(さがみみらい) 10人, 公明党相模原市議団(公明党) 8人, 立憲民主党(立民) 5人, 日本維新の会相模原市議団(日本維新の会) 3人, 颯爽の会(颯爽) 3人, 会派に属していない議員(無所属) 2人.

代表質問

代表質問・個人質疑の要点をピックアップしました。詳しい内容は、議会中継(録画)などをご覧ください。

〈2月25日〉
阿部 善博(自 民 党)
森 繁之(さがみらい)
加藤 明德(公 明 党)

〈2月26日〉
臼井 貴彦(立 民)
五十嵐千代(颯 爽)
こさわ隆宏(日本維新の会)
羽生田 学 ※個人質疑



令和8年度一般会計当初予算編成の考え方と特徴は

Q 過去最大規模の4,055億円となった当初予算編成の考え方は。

市長 令和7年8月に策定した「さがみはら都市経営戦略」における「将来にわたり本市が成長・発展を続けるとともに、市民が誇れる風格と魅力を備えた都市の実現」などの基本戦略の実現に向けて、多くの人や企業等に選ばれる取組を進めるための経費等を積極的に計上するという認識のもと編成した。

Q 歳入の特徴と、市税収入の増加要因は。

大川副市長 市税収入の堅調な推移のほか、建設債の積極的な活用が特徴である。また、雇用・所得環境の改善による個人市民税の増収、設備投資による固定資産税の増収等が要因と考えている。

Q 518億円に増額した投資的経費の内訳と今後の投資の考え方は。

市長 主な内訳は公共施設の長寿命化改修事業193億円、LED照明導入事業64億円、道路整備事業43億円である。公共施設の長寿命化の取組や税源涵養に資する新たなまちづくりの推進に係る経費は共に重要であり、必要な経費を確保していく。

Q 廃止・縮小とした事業の状況と予算計上の考え方は。

石井副市長 廃止・縮小となった事業は、主に事業が完了したものである。本市が今後も持続的に発展を続けるまちとなるため、重点テーマや本市の個性を生かす分野を中心に予算を計上した。

市立小学校等の給食費無償化 基本的な考え方は

Q 令和8年度は基準額※1超過分を含め無償化となるが、実施方法は。

市長 学校給食費の全額支援は、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、給食費負担軽減交付金に加え、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施する。



小学校での給食の様子

Q 令和9年度以降も基準額の超過分を支援すべきでは。

市長 今回は、保護者負担を原則とした学校給食法の改正がなく、制度的な安定性や恒久性に課題があると認識している。令和9年度以降は、児童一人当たりの支援基準額等を含めた国の動向を踏まえた上で検討していく必要があると考えている。

- 用語解説**
- ※1 基準額
学校給食費の抜本的負担軽減のために国が創設した「給食費負担軽減交付金」の支援の基準額のこと。
 - ※2 中学校35人学級
公立中学校で40人だった1学級当たりの人数の標準を、35人とする学級編制のこと。令和8年度から10年度にかけて学年ごとに段階的に実施する。
 - ※3 子ども・子育て支援金
2面の用語解説参照
 - ※4 国保財政調整基金
国民健康保険財政調整基金のこと。年度間における保険税負担の平準化を図るとともに、自然災害や景気の動向などによる保険税収入の不足に備えるために設置している。

中学校35人学級※2への移行 教員確保等への対応は

Q 職員定数の増員に伴う、教員確保に向けた取組は。

教育長 学校現場における業務改善の取組を進めるとともに、本市独自の処遇改善として、学級担任業務に携わる全ての教員を義務教育等教員特別手当の加算対象としたところである。引き続き、働きやすく魅力ある学校づくりを本市が目指しているとのメッセージを発信し、優秀な人材の確保に繋げていく。



令和8年度 学校教員募集案内

Q 中学校35人学級にすることによる影響は。

教育長 1学級当たりの生徒数の引き下げで、教員がより生徒一人ひとりの様子を把握し、きめ細かな指導等の向上に繋げることで、誰一人取り残さない温かさのある教育が一層推進できるものと認識している。

Q 全学年での実施に向けた、教室確保の状況は。

教育長 令和8年度に向けては、余裕教室の活用により全ての市立中学校等において確保できたが、9年度に不足が見込まれる谷口中学校は、仮設校舎の設置により対応することとしている。

国民健康保険条例の一部改正 保険税率設定の考え方は

Q 増額改定となるが、今回の税率を設定した根拠は。

市長 子ども・子育て支援金※3の徴収開始や診療報酬の改定等により、現行の税率では約19億円の歳入不足となり平均14.4%増の大幅な改定が必要な状況だったが、被保険者の急激な負担増を緩和するため、国保財政調整基金※4を活用し平均7.4%増の改定とした。

Q 県内の保険料水準の統一等について、検討の状況は。

市長 県策定の国民健康保険運営方針に基づき、令和18年度までに、同じ所得水準、世帯構成であれば同じ保険料となるよう、県や県内市町村と保険料算定方式や課題等を協議している。

移動手段の確保に向けた 実証運行等の新たな取組は

Q 自動運転バス実証運行※5の目的と目指す将来像は。

市長 子育て応援やまちづくり、運転士不足への対応を目的とし、令和8年度後半に1か月間、運転士が必要なレベル2で運行する。2年目以降は運転士が不要なレベル4による運行を目指すとともに、既存のバス路線における運行も視野に取り組んでいく。



自動運転バスのプレ実証(令和8年3月実施)の様子

Q 都市部における乗合タクシーの実証実験※6の目的と内容は。

市長 都市部での有効な移動手段となり得るか検証する。令和6年度の実証運行による意見を踏まえ、予約不要の定時定路線による運行や定額乗り放題とし、利用促進を図っていく。

- ※5 自動運転バス実証運行
相模原駅北口から相模原スポーツ・レクリエーションパーク、宮下本町を経由するルートで実施する、最先端技術を活用した自動運転バスの実証運行のこと。
- ※6 都市部における乗合タクシーの実証実験
令和8年度、相模台地区の一部・東林地区の一部で実施するタクシー車両を活用したミニバスの実証実験のこと。



にしだ ゆうと
西田 悠人
(自民党)



Q ドローン開発や導入への支援
特区(※)の強みを生かした取組は

市長 これまでも研究開発支援や導入費補助等を実施してきた。今後、さがみはらロボット導入支援センターでドローン導入に向けた相談体制を構築するなど、更なる導入促進を図っていく。

Q 設置予定の学びの多様化学校(※)
登校への意欲に繋げる工夫は

教育長 興味関心を持てる課題設定や児童生徒一人ひとりが取り組みやすいペースで学べる工夫等のほか、活動に自己肯定感や自己有用感を高める支援を取り入れた学校づくりを進めていく。

その他の質問 地域の防犯対策など

※特区 さがみロボット産業特区のこと。
※学びの多様化学校 不登校児童生徒等を対象に、教育課程の基準によらず特別の教育課程を編成して教育を実施できる学校のこと。並木小学校跡地を活用し令和11年4月の開校を予定している。



たに がわ
谷川 ヒロシ
(さがみみらい)



Q 緑区のスポーツ環境の充実へ
北公園(※)グラウンドの人工芝化は

市長 野球とサッカーでは同一の人工芝を共用することが困難であるなど、課題があると考えている。今後、本市全体のスポーツ施設の利便性等の向上に向け、課題の把握等に努めていく。

Q 橋本地区の自治会活動拠点
市としての考え方は

市長 自治会集会所は活動の円滑な運営や地域コミュニティの形成のため、重要な拠点と認識している。集会所取得の補助制度を伝える等、活動拠点の確保に向け支援していきたいと考えている。

その他の質問 「自動車解体ヤード規制条例」の制定など

※北公園 相模原北公園のこと。



なか むら ただ とし
中村 忠辰
(公明党)



Q 大人の発達障がい理解促進
公的な取組を強化する考えは

市長 周囲の理解が重要であるため、講演会の開催やブルーライトアップ、横断幕掲示等の取組を行っている。今後も、社会全体の理解が進むよう普及啓発に取り組んでいく。

Q 道の駅を核とした周遊型観光
ネットワーク化の考えは

市長 道の駅のネットワークを構築し、魅力発信や交流促進を図ることは、重要な視点であると考えており、中山間地域における既存施設の再整備や魅力向上に向けた検討を進めていく。

その他の質問 道路の安全確保に向けた取組など



世界自閉症啓発デーに合わせた
ブルーライトアップ



市民に親しまれている市役所前の桜並木



いわ い だい
岩井 大
(日本維新の会)



Q 津久井湖のシンボル三井大橋
景観資源等としての認識は

市長 ハイキングコース等の一部として利用されているほか、周辺の公園等と一体となって湖周辺の魅力を形づくるとともに、景観を特徴付けるランドマークになっていると認識している。

Q 津久井湖渇水で見物客が増加
注意喚起や交通誘導の対策は

市長 県立津久井湖城山公園では、駐車場の入庫待ち列へ警備員を配置する等の対応が取られていると承知している。生活道路への進入や路上駐車には、警察等と連携し対応を図っていく。

その他の質問 地域の歴史・文化とシビックプライドの向上など



む かわ けい
務川 慧
(自民党)



Q シンボル街路樹を次世代に継承
管理方針(※)へ盛り込む考えは

市長 方針案では「シンボル並木の形成」を取組方針の一つとして盛り込む。今後は、対象とする路線を選定し、良好な都市景観を形成することで、都市のブランド力の向上に努めていく。

Q 望ましい学校規模に向け
学校再編を加速化する考えは

教育長 様々な課題に対応し、望ましい学校環境を実現するため、地域や保護者との速やかな合意形成が重要と認識していることから、検討委員会(※)を設置し、手法を検討することとしている。

その他の質問 民地の樹木の管理/常勤教職員の不足など

※管理方針 (仮称)街路樹管理方針のこと。
※検討委員会 「相模原市立小中学校等の適正規模・適正配置あり方検討委員会」のこと。令和7年9月に設置され、教育の質を高め、新しい時代の学びを実現するための審議を行っている。



せき ね まさ ごろう
関根 雅吾郎
(さがみみらい)



Q 早朝深夜のコミュニティバス運行と
タクシー定額乗り放題の実施は

市長 コミュニティバスの早朝、終電後の運行は、運転士の確保が難しく実施は困難であり、個人利用のタクシー定額乗り放題は、公共性、公平性の観点から課題があると考えている。

Q 狭い橋本駅北口指定喫煙場所
スペース拡大に向けた取組は

市長 喫煙者、非喫煙者双方に配慮した環境整備を図るため、協定(※)に基づき協議を続けている。今後、事業費の確保等や更なる環境整備等に向け、情報収集や課題の整理などを行っている。

その他の質問 職業教育/議員の活用/自治会館の修繕、建て替えなど

※協定 市と日本たばこ産業株式会社神奈川支社が令和7年11月に締結した喫煙環境整備等に関する連携協定のこと。



の もと よし み
野元 好美
(颯 爽)



Q もしもに備えた暮らしの安心
終活情報登録事業(※)の実施は

市長 身寄りのない高齢者が安心して生活するためには、もしもに備え、より広い情報を事前に用意しておくことが必要となることから、事業の在り方や課題等を検討していく。

Q 貴重な文化財の継承と保護
担い手の確保や活動支援は

教育長 学校教育における郷土学習支援の充実化等を進めるとともに、民俗芸能等の団体支援に取り組んでいる。また、地域計画(※)では、市民提案型の地域遺産制度の創設を位置付けている。

その他の質問 県が許可し、不適切に盛土が行われた既存盛土への対応など

※終活情報登録事業 緊急時や死亡時に備え、緊急連絡先や葬儀の生前契約先、納骨先等の終活関連情報を自治体に登録し、警察や医療機関等からの照会に対し自治体が開示する事業のこと。
※地域計画 相模原市文化財保存活用地域計画のこと。



は にょう だ がく
羽生田 学
(無所属)



Q イラン攻撃を中止する要求
政府に要望する考えは

市長 中東情勢に関して、現時点で、本市が日本政府に要請などを行う考えはないが、少しでも早い事態の沈静化を望んでおり、引き続き、動向を注視していく。

Q 多胎児出産後のケア
本市の訪問看護の実情は

市長 多胎児が出生した場合などで医師が必要と判断した時は、訪問看護が利用可能である。そうした場合以外でも、必要に応じて産後ケア事業等のサービスを利用いただいている。

その他の質問 バス路線の維持/支援学級の介助員など

3月定例会

質

さがみん



市政全般にわ
ポイントを

議案以外
に関する
一般質問



いま みや
今宮 ゆうき
(さがみらい)



Q 経済損失にも繋がる花粉症
独自に患者支援を行う考えは

市長 多くの方が症状に悩まされていることは承知しており、今後も国などの最新の動向を注視しながら、市ホームページなどで花粉症の治療方法や予防行動について、周知に努めていく。

Q いじめ・暴力の抑止にも有効
学校に防犯カメラ設置の考えは

教育長 校舎内への設置は、いじめ等の未然防止など一定の効果が見込まれる一方、プライバシー配慮等の観点での課題や子どもの心理的安全性への影響等から、慎重に検討する必要がある。

その他の質問 非行等の児童生徒への不登校支援など



はぎ うだ やす はる
萩生田 康治
(自民党)



Q 公共工事入札参加業者の確保
事務負担軽減に向けた取組は

市長 これまでも負担軽減を図るため、重複している書式の整理や様式の見直しなどに取り組んできた。今後も建設関係団体からの意見等も踏まえながら、負担軽減に向け取り組んでいく。

Q 消防団員の警戒活動等の報酬
国の通知(*)との整合性は

市長 警戒や広報などの出動報酬は、必要な回数や人員を要綱で定め、国の通知に基づき個人に支給している。今後、活動実態や消防団の意見を踏まえ、必要な見直しを検討していく。

その他の質問 宇宙を軸とした都市経営/市民生活全般など

※国の通知 令和3年4月に総務省消防庁が通知した「非常勤消防団員の報酬等の基準」のこと。



なん ば ひで き
南波 秀樹
(公明党)



Q リニア時代の玄関口となる橋本
地下バスターミナルの必要性は

市長 バスターミナルは、広域と繋がる橋本駅南口の利便性を高める施設となるが、地下への配置については、地下空間の活用と合わせて検討している。

Q 障がいのある方の家族の不安
「親なきあと」への支援は

市長 各区の窓口で「親なきあと」を見据えた相談支援を行うとともに、緊急時の対応や生活の体験の場を確保するため、地域生活支援拠点の整備を進めている。

その他の質問 地域共創型モビリティの推進/高齢者支援など



消火活動中の消防団員



おお さわ よう こ
大沢 洋子
(立民)



Q パソコンのリサイクル回収が収入に
収入額と市民への協力周知は

市長 リサイクルスクエア等での回収で、令和8年1月末で約600万円の収入となっている。引き続き、パソコンのリサイクル回収の有効性と適切な排出について分かりやすく周知していく。

Q 動物愛護センター(*)の屋外運動場
ドッグランとして市民への開放は

市長 動物愛護センターに備える予定である収容犬の飼育や治療のための運動場のドッグラン利用については、麻布大学と意見交換を行っていく。

その他の質問 上矢部の土塁/安全安心なまちづくりなど

※動物愛護センター 市の動物愛護及び狂犬病予防に関する施策推進の拠点として、麻布大学の敷地内への設置が検討されている。



木もれびの森での危険木の伐採



おり かせ まさはる
折笠 正治
(自民党)



Q 南区合同庁舎の新棟整備(*)
2つのプランの長所と短所は

市長 南市民ホール跡地への建設では1階層ごとの面積は広いものの、日照権の制約等により高層化が困難である。第3駐車場への建設では1階層ごとの面積は限られるが、高層化が可能となる。

Q 休日部活動の地域展開
地域クラブの運営主体の想定は

市長 現在、ワーキングにおいて、民間スポーツクラブの認定による実施や市主体による方法等を検討している。引き続き、本市の実情に合った地域クラブの展開に向け、取り組んでいく。

その他の質問 バスケットボールなど



すず き こう ち
鈴木 晃地
(日本維新の会)



Q 木もれびの森の危険木
把握している数とその対応は

市長 令和7年度は、木もれびの森の林縁部において、樹木医による点検を行い、把握した危険木470本を全て伐採した。

Q 未就学の医療的ケア児童数
待機児童数と保留児童数は

市長 小学校入学前の医療的ケア児は、令和8年2月末時点で市が把握している方は15名で、この内9名が保育認定を受けている。また、医療的ケア児の待機児童は0名、保留児童は1名である。

その他の質問 ふれあいの森/東林間2丁目の未利用市有地など



いし かわ いたる
石川 達
(さがみらい)



Q 相模台小入口交差点付近の
歩道拡幅に向けた進捗状況は

市長 国・米軍に対し地域課題の実情説明を重ね、昨年5月、相模原住宅地区(*)の一部の共同使用に係る申請を行った。現在は早期の日米合同委員会合意に向け、詳細な協議が進められている。

Q 南区に新設する一時保護施設(*)
供用開始を早める考えは

市長 できるだけ早期の開設を基本としつつ、子どもが家庭的な環境で安全、安心に暮らせることに十分配慮した設計等を行うことなどを考慮し、令和11年度末の供用開始を目指している。

その他の質問 JAXAとの連携を生かした市政運営など



は せ がわ くみ こ
長谷川 くみ子
(颯 爽)



Q 事業者のPFASへの取組
処理システムの把握状況は

市長 基礎工事は着工したが、稼働時期等は明確に定まっていないと伺っている。また、事業者が採用した処理方法は土壌汚染対策法で定めがあるほか、海外実績があるものと伺っている。

Q 多目的ホール(*)の舞台ホール機能
今後の抜本改修への見解は

市長 バリアフリー化など、舞台等の構造を大きく変更する改修は、建物全体の大規模改修で対応する必要があるため、一般公共建築物長寿命化計画を踏まえ検討するものと考えている。

その他の質問 南区合同庁舎の再整備など

※相模原住宅地区 在日米陸軍の監理下で、米軍人、軍属及びその家族の住宅専用施設として使用されており、相模台小入口交差点と隣接している。

※一時保護施設 児童相談所一時保護施設のこと。

※多目的ホール 相模女子大学グリーンホール多目的ホールのこと。

議
般
問

たる、一般質問の
抜き出しました。

の市政全般
質問を
と言うんだよ。

各議員の
氏名の下から
一般質問の録画
映像にアクセス
できます。

一般質問

3月定例会議



津久井中央公民館前の噴水塔再編整備(※)における取扱い

市長 横浜水道創設100周年を記念し、旧津久井町に横浜市から寄贈された歴史的資源の一つと認識していることから、水源地であることの重要性等を踏まえ検討事項として取り扱っている。

あきもと じん 秋本 仁 (自民党)

橋本図書館でのビジネス支援他自治体の先進事例の研究は

市長 起業家等に有益な情報が豊富でビジネス支援に重点を置いた取組を進める橋本図書館との連携は、産業政策に有効と考えられるため、今後、他自治体の先進的な取組を研究していく。



その他の質問 ツアー・オブ・ジャパンの推進/橋本駅周辺のまちづくりなど

※再編整備 津久井総合事務所周辺公共施設再編整備のこと。



少年野球などで利用されるウイツひばり球場

各議員の氏名の下から一般質問の録画映像にアクセスできます。



津久井地域への道の駅の設置検討状況と国の登録要件は

市長 令和7年度は、5つの候補地について前面道路の交通量や立地環境など、様々な視点で検討を行い、3か所を候補地とした。令和8年度は、候補地を1か所に絞り込むとともに、基本計画の策定に向けた取組を進めていく。道の駅の登録には、24時間利用できる駐車場やトイレの設置、情報提供や地域振興のための施設などが必要とされている。

くりはら たかひさ 栗原 大 (立 民)



鳥居原ふれあいの館は道の駅の候補地に含まれるか

市長 鳥居原ふれあいの館は、道の駅の候補地の一つである。



子どもの公共施設利用料団体利用を無料化する考えは

市長 公共施設の団体利用は子どもの居場所づくりに繋がるものと認識しているが、無料化は他の利用団体や施設等への影響が大きいいため、引き続き、課題の整理を行っていく。

えのもと ようすけ 榎本 揚助 (さがみみらい)

特別児童扶養手当の所得制限市独自に撤廃する考えは

市長 生活の安定に寄与するために必要な範囲で支給していることや、他の制度との均衡等を踏まえ、国で検討すべきものと考えている。機会を捉え、制度の見直しについて国に要望していく。



その他の質問 リニアインパクトを最大化するためになど

詳しい内容については、市議会ホームページや議会中継(録画)をご覧ください。



鶴野森交差点付近の道路案内標識



高齢者の予防接種歴の管理に成人用ワクチン手帳の発行は

市長 接種歴を記録する手助けとなるため、感染症対策に有効な手段の一つと考えられるが、定期接種を実施した高齢者には接種済証を交付しているため、現在のところ検討はしていない。

うしろだ ひろみ 後田 博美 (公明党)



コミュニティバス「ピンくる号」児童の通学に利用する考えは

教育長 バス利用は児童の負担軽減が期待できる一方、登校時間帯の乗客が多く、利用希望の児童全員が乗車できない可能性が高い。課題整理のほか、ニーズの把握など、調査研究していく。

その他の質問 「高経年マンション」を未来へつなぐためになど



歩道橋等に多数のさびが発生国道16号維持管理の考え方は

市長 5年に一度の定期点検を実施し、対策が必要な施設は速やかに修繕していくと相武国道事務所から伺っている。鶴野森交差点付近の道路案内標識の支柱は早期の補修を要望していく。

ふるうち あきら 古内 明 (自民党)



町田駅周辺の再整備事業町田市との道路整備の調整は

市長 令和7年11月に開催した連絡調整会議(※)で事業概要等の情報提供をいただき、令和8年3月末にも1年間の検討状況の説明を受けるなど、引き続き、緊密な調整を図っていく。

その他の質問 救急医療の適正利用/部活動地域展開に向けてなど

※連絡調整会議 相模原・町田広域交通計画連絡調整会議のこと。

陳情の審議結果

不採択

第1号▷相模原市子ども医療費助成制度の所得制限撤廃の早期実施および移行期における高校生世代への特例措置に関することについて

第2号▷相模原市重度障害者等福祉手当の廃止の保留について

第3号▷新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求めることについて

継続審査

第11号▷排泄課題を抱える障害児者への日常生活用具の認定に関することについて

議会図書室の図書貸し出しを始めました

令和8年4月から、議会図書室が所蔵する図書を市の図書館ホームページから検索できるようになりました。貸し出しが可能な図書は、図書館や公民館図書室等を通じて借りることができます(議会図書室での直接の貸し出しは行っていません)。

議会図書室は、議員の調査・研究に役立つ図書を約4,800冊所蔵する図書室です。

詳しくは、市議会ホームページの「議会図書室」をご確認ください。



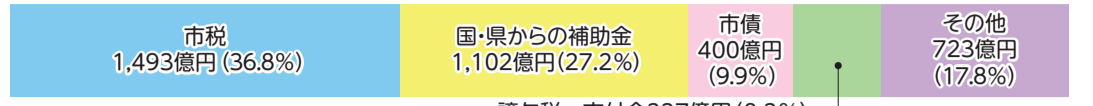
令和8年度当初予算について CHECK チェック!



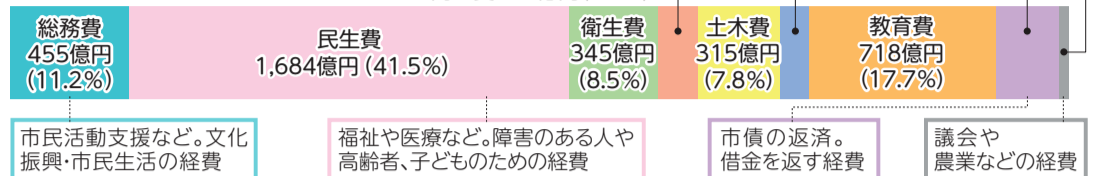
一般会計 予算の構成

一般会計 4,055億円 (過去最大規模)

歳入



歳出



市民活動支援など。文化振興・市民生活の経費
福祉や医療など。障害のある人や高齢者、子どものための経費
市債の返済。借金を返す経費
議会や農業などの経費

予算特別委員会分科会の審査

詳しい内容については、議会中継(録画)「予算特別委員会」をご覧ください。



令和8年度の予算について審査するため、全議員による予算特別委員会が2月26日に設置され、寺田弘子委員が委員長に、石川達委員が副委員長に選出されました。予算特別委員会に付託された予算案は、5つの分科会で詳細な審査が行われました。ここでは、分科会でのチェック事項の一部を紹介します。

総務 総合戦略推進経費(債務負担行為) 予算額 2,247万円

事業概要▶ 若者・子育て世代を中心とした転入促進、出生数増加等に資する効果的な政策を立案するため、EBPM(証拠に基づく政策立案)の考え方を踏まえた調査、分析及び政策仮説の構築を行う。
債務負担行為の設定期間：令和7・8年度
限度額：2,247万円

- 従来の政策立案の手法とEBPMとの違いは。
- 調査分析結果の具体的な政策への反映と効果検証の考え方は。

民生 動物愛護事業 予算額 5,693万円

事業概要▶ 人と動物との共生社会の実現を目指し、多頭飼育届出制度の活用等により動物の愛護と適正飼養の普及啓発を実施するとともに、野良猫等の不妊去勢手術費の助成等を行う。また、(仮称)相模原市動物愛護センターの設置に向けた検討を行う。

- 動物愛護団体との啓発イベントの実施内容は。
- 動物愛護センター設置に向けた基本計画の検討状況は。

市民環境経済 スポーツ推進在り方検討事業 予算額 3,188万円

事業概要▶ スタジアムの必要性に関する調査を実施する。

- 調査の目的と内容は。
- 建設しない選択肢も含めた調査なのか。

建設 乗合タクシー等運行事業 予算額 2億713万円

事業概要▶ 中山間地域の交通不便地域の生活交通を確保するため、乗合タクシーの実証運行とともに、期間限定で運賃無料化や、一部地域でスクールバスを活用した公共ライドシェアを実施する。また、都市部への導入可能性について相模台地区の一部及び東林地区の一部にて実証実験を実施する。

- 期間限定で実施する運賃無料化の具体的な内容は。
- 都市部で行う実証実験の対象エリアの選定理由は。

こども文教 教育メタバース活用事業 予算額 5,159万円

事業概要▶ メタバースを導入し、不登校児童生徒の学びの場の確保及び全ての児童生徒の創造性・表現力の向上等を図るため、新たなオンライン学習システムを構築する。

- 学校DX推進や生成AI活用の状況と令和8年度の取組は。
- 工夫した点と、対象となる児童生徒は。

予算に対する討論要旨

詳しい内容については、議会中継(録画)をご覧ください。



反対討論 無所属議員B

- 1 税の徴収強化の緩和や国保税の減免措置の要件緩和など、市民の命と暮らしに寄り添う姿勢を持つべきである。
- 2 アメリカとイスラエルによるイラン攻撃に対し、中止させるよう国に要請するとともに、原油価格高騰などの影響への対応を図ることを求める。

賛成討論 日本維新の会

- 1 投資的経費の積極的確保は評価するが、中長期の財政推移の分析と定期的な公表を要望する。各投資的事業を事後検証できるよう制度化を求める。
- 2 未来への投資として子育て・教育分野へのシフトを求めてきた。教育費が過去10年間で最も高い構成比となり、より良い教育環境を提供する予算である点を歓迎する。

反対討論 颯 爽

- 1 市民生活に直結する政策分野で抑制や縮減が見られる一方、将来負担への検証が不十分なまま、大規模開発等への投資が進められており、市政運営の整合性を欠く。
- 2 人口減少に転じた今、ハード整備中心のまちづくりから、人間中心のまちづくりへのシフトこそが持続可能性を支える鍵であり、変革を求める。

賛成討論 立 民

- 1 移動手段の確保については、中山間地域をはじめ積極的に取り組むことを評価する。引き続き誰一人取り残さない社会の実現を要望する。
- 2 消防救急デジタル無線に係るベンダーロックイン問題は、公平公正の観点から、可能な限り競争入札を導入していくとしており大変評価する。今後の行政課題も説明責任を果たせる予算執行を要望する。

賛成討論 公明党

- 1 投資的経費が過去最大を更新し、次代を見据えた戦略的な都市経営の具現化に向けた積極的投資であり評価する。
- 2 物価高騰など厳しい社会経済情勢の中、経済波及効果の高い投資とともに、市民生活の向上と安定に万全を期すよう強く求める。
- 3 戦後・被爆80年の節目を越え、貴重な戦争体験談の記録・継承に注力している点を高く評価する。生きた教材として最大限に活用することを要望する。

賛成討論 さがみみらい

- 1 一般会計当初予算の規模拡大は、一般的な物価上昇を大きく上回っている。未来への投資をためらわない積極財政の考え方が確実に反映されており、評価する。
- 2 企業からの税収を増やす視点は引き続き重要である。固定資産税は約21億円の増加を見込んでいるが、データセンター等の誘致など、戦略的な取組を求める。
- 3 こども・若者業務センターを設置し、職員の“考える仕事”に向き合う時間を確保する取組は大いに評価する。

賛成討論 自民党

- 1 建設に係る市債は、市民負担の平準化の意味合いも大きく、今回の増加を評価する。法人市民税の伸び率が低いことに危機感を抱いており、市税収入の構造改善を求める。
- 2 道路などのインフラや公共施設の適切な管理は、市民の安全・安心の確保の点から重要であり、引き続き、計画的な事業の推進を求める。
- 3 子育てに係る経済的な不安に寄り添う施策として、こども医療費助成の対象拡大をはじめ、学校給食費の負担軽減、スタディクーポン事業の拡大に取り組むことは大いに評価する。



SAGAMIHARA CITY COUNCIL

令和7年度常任委員会 活動レポート

常任委員会とは

議会で審議する議案を、いくつかの部門に分けて詳しく審査するのが「委員会」で、相模原市議会では常に5つの委員会(常任委員会)を設置しているんだよ。今回は、次の2つの委員会の視察の様子を紹介するよ。

- 1 **建設委員会**
都市計画、交通、住宅、道路、下水道、災害対策、消防等の分野を審査
- 2 **こども文教委員会**
子ども・子育て支援、学校教育等の分野を審査

建設委員会

都市再生の取組や都心の土地利用誘導施策を視察

令和7年10月23・24日 門真市、神戸市

門真市では、社会実験を実施し、エリアの価値を高め、居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成を目指す「古川橋駅周辺地区まちなかウォークブル推進事業」について、神戸市では、三ノ宮駅周辺におけるタワーマンションの建築規制など、都市機能とバランスのとれた都心居住を誘導する施策について調査研究を行いました。

本市の駅周辺等のまちづくりに関する施策の審査等を行うに当たって、参考にしていきます。



古川橋駅周辺地区(門真市)での視察の様子



神戸市での視察の様子

こども文教委員会

青少年の居場所支援や特色ある幼児教育・保育を推進する施設支援の取組を視察

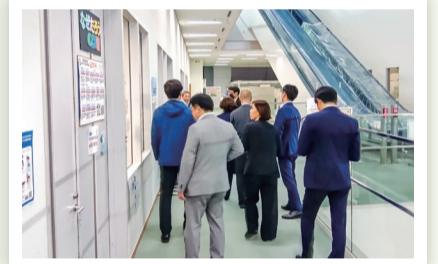
令和7年10月30・31日 仙台市、福島市

仙台市では、学校に行けない、日中の居場所が欲しいといった青少年が通所して活動できるふれあい広場について、福島市では、保育施設等の子どもたちの創造性や感性を育む取組を支援する「特色ある幼児教育・保育プロジェクト」や、教育文化複合施設「子どもの夢を育む施設こむこむ館」について調査研究を行いました。

本市の子育てや青少年健全育成の分野における施策の審査等を行うに当たって、参考にしていきます。



仙台市での視察の様子



「子どもの夢を育む施設こむこむ館」(福島市)での視察の様子

議会運営委員会活動レポート

熊本地震発災後の議会運営や障害のある議員への合理的配慮の取組を視察

令和8年1月20・21日 宇土市、熊本市

宇土市では、平成28年の熊本地震で庁舎が損壊、隣接の議会棟が立入禁止となった中で議会運営について、熊本市では、熊本地震発災後の議会の取組と、議会の施設や運営等における障害のある議員への合理的配慮の取組等について、調査研究を行いました。

本市議会の災害発生等の非常時における議会運営や合理的配慮の検討に当たって参考にしていきます。



宇土市での視察の様子



熊本市での視察の様子

小・中学生対象

あなたの描いた絵が市議会だよりの表紙になるかも!?

作品大募集!



ご応募をお待ちしています!

「こんなまちになるといいな(未来の相模原)」または「相模原のこんなところが好き」をテーマにご応募いただいた絵画作品の中から1作品を、令和8年11月1日発行の市議会だよりの表紙として掲載します。

更に、作品を応募いただいた皆さんを、議場など普段はなかなか入ることのできない場所の見学等ができるイベントへご招待します。

- 応募資格 市内に在住または在学の小・中学生
- 募集期間 令和8年4月1日(水)~6月30日(火)(必着)

詳しくは、市議会ホームページまたは公民館等に配架しているチラシをご確認ください。



さがみはらLOVE フォトギャラリー

「鮮やかに輝く」(撮影場所:南区下溝 県立相模原公園 せせらぎの園地区)

南区 水町 有紀さん

光の干渉により鮮やかにカラフルに輝くカモの羽根。羽を開くと大きく変化する色もとても綺麗でした。



フォトギャラリーの写真を募集しています! 市内のお気に入りの風景等をご紹介ください。ご応募をお待ちしています!

〈オンラインからの場合〉
右のQRコードの入力フォームに必要事項を入力し、写真データを添付して応募

〈郵送の場合〉
住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を書いて、プリントした写真とあわせて郵送

【郵送先】〒252-5277 中央区中央2-11-15 相模原市議会議会局政策調査課まで



入力フォーム

- 応募者本人が相模原市内で撮影した写真で、他のコンテスト等への応募をしていないものに限ります。
- 生成AIによる生成画像、画像編集アプリによる合成や加工した作品は、応募できません。
- 応募作品での肖像権、登録商標の無断転用、著作権等に関するトラブルには、相模原市議会は一切の責任を負いません。
- 採用作品の著作権は作者に帰属しますが、相模原市議会がホームページ、SNS等の議会広報事業に使用できるものとします。
- 応募に係る費用(通信料、郵送料等)は応募者の負担となります。 ● 応募作品の返却はいたしません。
- 採用作品を掲載する際、応募者の氏名を公表します。 ● 採用された方には、連絡を差し上げます。
- 応募者の個人情報は、「さがみはらLOVE フォトギャラリー」に関する情報のご案内のみに使用します。
- ご不明な点は、相模原市議会議会局政策調査課(電話042-769-9803)までお問合せください。
- 応募方法、注意事項については、予告なしに変更する場合があります。

さがみはら市議会だよりは、新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、市役所や区役所等の公共施設にも置いています。ご自宅への郵送をご希望の場合は、相模原市コールセンター(☎042-770-7777)までお申し込みください。

※この市議会だよりは13万5,000部作成し、1部当たりの単価は11.33円です。また、古紙配合率70%以上再生紙を使用し、ユニバーサルデザインの視点を持って取り組んでいます。

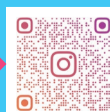
相模原市議会

検索

ホームページ



LINE



フェイスブック

